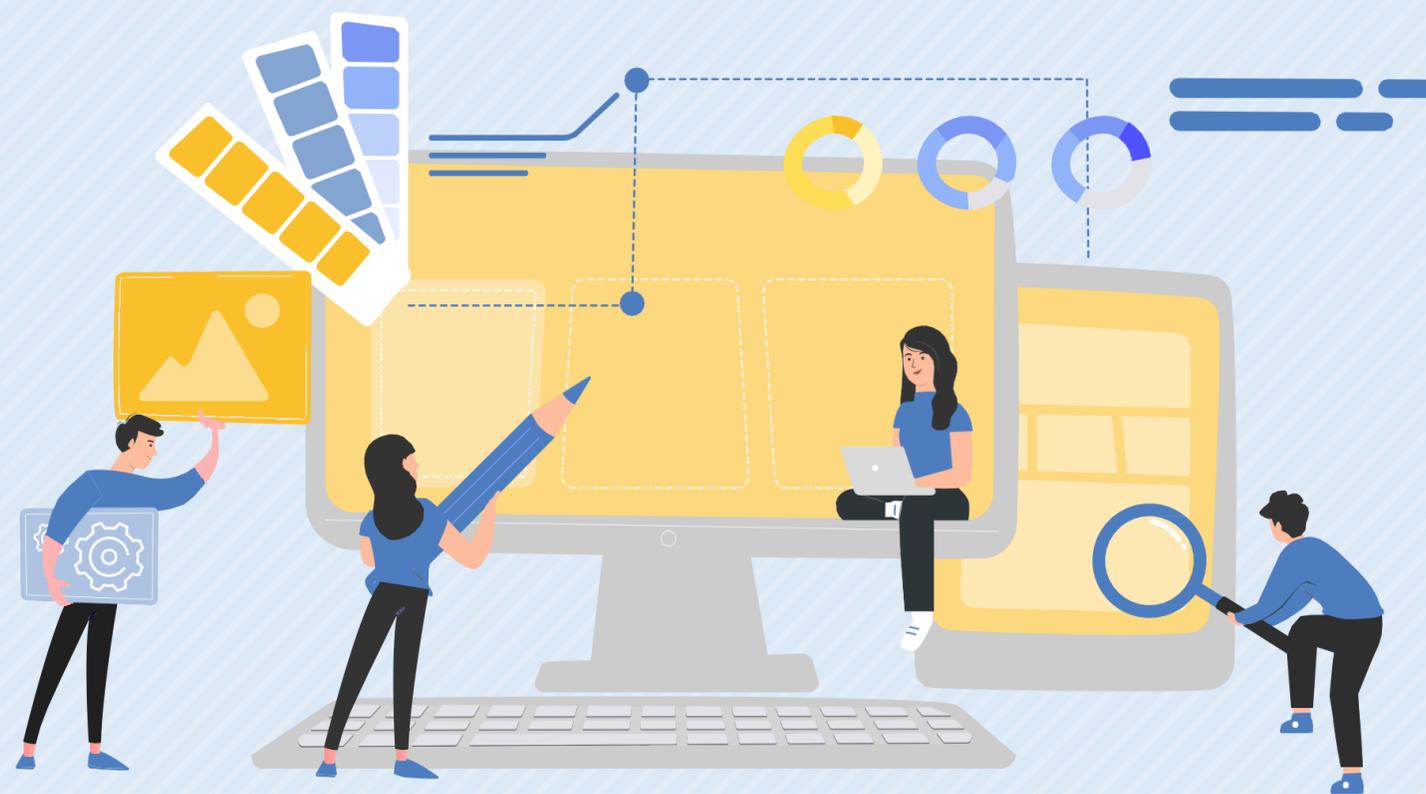


CACOO 導入事例集

by nulab



ネクスキャット株式会社

Webサイト制作の要件定義にかかる時間を半減。 Cacooの活用で顧客とのコミュニケーションを円滑に

デザインの持つ力を活かして、企業ブランドの構築やイノベーションの創出を行う『デザイン経営』を推進し、さまざまな事業を展開している ネクスキャット株式会社。同社の事業開発ユニット ディレクショングループでは、Web制作やブランド構築におけるデザイン～フィードバックといったクライアント業務においてより効果的なデザイン提案を行うため、Cacooを導入しています。



業 種： WEB制作・システム開発

利用部門： 事業開発

Cacoo 導入前

Cacoo 導入後

情報共有・ ファイル管理

- GoogleスライドやPowerPointなど、担当各々がデータを保存している状況で一元管理ができなかった
- 過去の提案内容や作図データを参照する際に手間取る



- 専門性の高いデザインソフトを使った経験がなくても簡単に作図が可能

業務効率

- ワイヤフレームや画面遷移図などの作成や修正に工数がかかっていた
- クライアントの要望に合わせて都度細やかな調整をかけていく際、ビジュアル調整が難しかった



- クライアントとの意思疎通がスムーズになり業務が効率化

ネクスキャット株式会社はデザイン経営を推進するグローバル・デザイン・エージェンシーです。主軸のデザイン経営推進事業では、社員より”社員らしい”フルスタックデザイナーを定額で提供する『Desinare (デジナレ)』を展開しております。また、企業のDXに寄り添うDX推進事業や、最近では海外の大学との産学連携によるデザイン×イノベーションにも挑戦しています。

“要件定義にかかる時間が半分に！ Cacoo導入で作業効率が大きく向上”

—— Cacoo導入前に抱えていた課題を教えてくださいませんか。

ビジュアル作成に関する課題は、従来のGoogleスライドやPowerPointなどを使用していたために生じていました。各プロジェクトで作成されたデータがクライアントごとに分散し、それを一元管理することが難しかったです。

これがプロジェクト全体の把握を難しくし、誤解を生むこともありました。また、クライアント要件の微調整や細かな要件定義には時間を要しており、効率性が課題でした。

—— 導入の決め手を教えてくださいませんか。

Cacooの導入の決め手は3つありました。まず、その使いやすさです。デザイナーやエンジニアでなくても直感的に図やワイヤーフレームを作成でき、多彩なテンプレートも利用可能でした。これにより、社内での普及が迅速に進みました。次に、Cacooがクラウドサービスである点です。どこでも利用でき、オンライン上でクライアントと共同編集が可能でした。また、シートサイズの自由設定ができ、リアルタイムでのレビューに役立ち、コミュニケーションがスムーズになりました。導入ハードルが低かったことも決め手の1つです。

—— 導入後、感じられた効果はどのようなものでしたか。

Cacoo導入後、作業効率が大幅に向上しました。Cacooは使いやすく、イメージの作成と共有が容易で、業務のスピード感が増しました。

また、カスタムテンプレート機能を使い、過去のテンプレートを利用することで、作図作業に要する時間が短縮され、業務効率化が実感できました。これにより、過去の情報共有や属人化の解消にも繋がっています。

—— 要件定義に時間がかかってしまう課題については解消されましたか。

驚くことに、要件定義にかかる時間が半減しました。Cacooを使った画面共有やリアルタイムの共同編集は、クライアントとのイメージ共有を促進し、会議をより効果的に進めることができます。

これにより、クライアントやチームメンバーとの意思疎通がスムーズになり、情報共有が円滑化しました。導入後半年経過し、チーム全体がCacooを図作成に欠かせないツールとして定着しています。



—— 今後の活用についての展望をお聞かせください。

現在は、ワイヤーフレームをはじめ画面遷移図や業務フロー図などのビジュアル作成の場での使用が多いのですが、Cacooのテンプレートを見てみると、もっとさまざまな場で活用できそうだと感じています。今後はプレストで活用するなど、より一層Cacoo活用の幅を広げていければと考えています。

その第一段階として、「吹き出しとコメント機能の使い分け」や「プレストする時には、Cacooのこの機能が便利ですよ」など、具体的なイメージが浮かぶような活用事例をまとめて、社内でどんどん共有していきたいですね。細かい粒度のTipsが社内に浸透することで、より効率的なCacooの運用を進めていきたいと考えています。

株式会社 ADX Consulting

「共同編集」と「見える化」がポイント！ Cacooでオンライン会議の認識合わせがスムーズに

ITツールの導入支援を通じて、クライアントにDXコンサルティングを提供する株式会社ADX Consulting（アデクスコンサルティング）。同社の営業部門向けのDX支援を行うCRM事業部では、社内外問わず、円滑なコミュニケーションツールとしてCacooを導入しています。



業 種：IT・通信

利用部門：CRM事業

Cacoo 導入前

Cacoo 導入後

情報共有

- 社内外の会議で細かなニュアンスが伝わらず認識のズレが生じていた
- ホワイトボードを画面上に映るようにして会議の実施



- 共同編集しながら会議をすることでオンラインでも思考の整理が容易に、会議後の認識のズレもなくなった

コミュニケーション

- テレワークでもオフラインのように深いコミュニケーションを取りたいという課題を抱えていた



- オンラインの社内研修もインタラクティブに開催できた
- 共同編集が可能なホワイトボードとして活用することで、円滑なコミュニケーションを実現

ADX Consultingは、これまでクラウドERP導入を柱とした基幹系業務のDXコンサルティングを主力事業としてきました。BtoBマーケティングを含む営業部門向けのDX事業にも注力するため、CRM事業部を立ち上げ、CRM（顧客関係管理）ツール導入の専門家として、クライアントに対して業務設計からシステム構築まで直接支援するコンサルティングを行っています。

“ ビジュアル共有を実現！ オンラインでも、認識を一つに ”

—— Cacao導入前に抱えていた課題を教えてくださいませんか。

当社は東京に本社を置きながら全社員に在宅勤務を推奨しています。メンバーが日本各地に点在しているため、お客様とのコミュニケーションもオンラインで進めることが多いです。そのような環境でも、お客様の問題解決のために深いコミュニケーションを取りたいという課題を抱えていました。

またオンラインコミュニケーションによる伝わりにくさの課題はお客様だけでなく社内でも同様に抱えていました。オンラインでは説明に時間がかかってしまったり認識にズレが生じたりすることがありました。

—— お客様との会議では、実際にどのようにCacaoをご活用いただいていますか。

Cacaoを使用して作成した図を画面共有するだけでなく、リンクを共有し、お客様と共同編集することで業務フローの調整や伝達を行っています。

口頭でのコミュニケーションだけでは理解が難しい部分を図に落とし込むことで、認識のズレを解消しました。

相互理解が深まるコミュニケーションの実現には、Cacaoのような描画の自由度が高いオンライン作図ツールを活用するのが最適だと思います。

—— 社内研修にもCacaoをご活用いただいていると伺いました。

社内からリクエストがあり、お客様へのコンサルティングに用いる業務フローの描き方を学ぶ研修を実施しました。

「ECサイトでユーザーが商品購入に至るまで」などのテーマを設定し、一通りレクチャーした後に実際に業務フローを描いてみるという実践型のワークショップを行いました。ワークショップは、受講者一人ひとりが各々のシート上に業務フローを描画し、フィードバックを受けるという流れです。

作業している様子を講師である社員がリアルタイムに見られるので、「そこはこんなやり方のほうがいいよ」とその場でアドバイスが可能となります。Cacaoを活用したおかげで、インタラクティブで学びのある研修にできたのではないかと思います。



—— Cacaoの魅力をお聞かせいただけますか。

オンライン上で共同編集が可能なホワイトボードとして活用することで、社内外問わず円滑なコミュニケーションが実現できる点に最大の魅力を感じます。

当社ではCacao導入前からBacklogを活用していたので、共通のアカウントでログインができるなど併用するメリットも感じています。Cacaoで描画した図を、Backlogに埋め込んだ際には、図にリアルタイムで更新が反映される点も便利です。

この機能を利用して、Backlogで過去の支援実績をギャラリー形式で社内に公開する取り組みを進めています。Cacaoで描いた業務フローやワイヤーフレーム、カスタマージャーニーなどを埋め込んで、いつでも参考にしてもらえるようにするのが狙いです。こういった連携機能も活用しながら、今後もあらゆるコミュニケーションの場面でCacaoを役立てていきたいと思っています。

株式会社フラッグシステム

マニュアルやPR記事に差し込む説明図、AWS構成図の作図に！ 短時間で綺麗な作図が可能

法人主催向けイベント・セミナーのクラウド管理システム「イーベ！」を筆頭に様々なASP事業を展開している株式会社フラッグシステム。同社では全部署でBacklogを導入、Cacooも全社共通ツールとして導入しています。



業種：IT・通信

利用部門：広報・システム開発

Cacoo 導入前

Cacoo 導入後

属人化

- 図の作成にAdobe Illustratorを使っていたが、基本操作が難しいため使えるひとが少なく作図や図の更新の業務が思うように進まなかった



- 誰でも図を作れるようになったため作図、更新業務がスムーズになった
- 図を簡単に共有できるようになったので、他部署からのフィードバックを受けやすくなった

業務効率

- 紙やエクセルを利用してAWS構成図の作図を行っていたが、メンバーへの共有や図の更新ができずに困っていた。
- 他部署メンバーへの共有のための図の作成に時間を費やしていた



- 短時間で綺麗な構成図の作成、更新ができる
- 正確な図の作成をブラウザ上で更新も簡単にでき、他部署メンバーにも共有しやすくなった

株式会社フラッグシステムは様々なジャンルのイベントやセミナーをクラウドで一元管理できる「イーベ！」を軸に事業を展開しています。「イーベ！」は名前とメールアドレスだけでイベント参加の申し込み完了、入場QRコードによる非接触受付が可能であることに加え、オンライン・オフライン問わず幅広く対応しています。

“誰でも簡単に分かりやすく 短時間で綺麗な作図が可能に！”

—— Cacao導入前に抱えていた課題を教えてくださいませんか。

広報チームでは、開発チームが社内向けに作った図を、お客様向けに作り替えることが重要です。特に言葉だけでは説明しにくい機能を、いかにデザインで分かりやすく形にするかを意識して作図しますが、担当者が限られる事が原因でした。

デザイン過程のコミュニケーションをスムーズにするためにも、デザイナーしか扱えないイラレではなく、共有しやすく、誰でも編集しやすいツールが必要でした。

システム開発チームでも、開発に関連する図をできる限り時間をかけずに「誰もが」「簡単に」「分かりやすく」作成できるかが課題としてありました。

—— 導入後、感じられた効果はどのようなものでしたか。

Cacao導入により、「誰もが」「簡単に」「分かりやすく」作成するための条件がクリアされ、抱えていた課題は全て解決しました。実際に導入して導入するメリットは3つあります。

1つ目は、広報チームが以前使っていたイラレがデザイナーしか操作できず、図の更新や確認作業が困難だったが、Cacaoは全社員が使いこなせるため、作成途中の図を共有してフィードバックを得る作業がスムーズになりました。

2つ目は、Cacaoの導入により誰でも簡単に図を作成できるようになり、マニュアルの内容が充実し、利用者からも分かりやすいという声を得られています。

3つ目は、Webブラウザ上で自由に図を作成できる利点があり、部署間で共有や編集がしやすく、開発側も手間をかけずに正確な図を作成できます。また、Backlogとの連携が簡単であり、社内でも共通利用できるツールとして重宝しています。

—— そのほか、Cacaoを活用されている業務はありますか

システム開発チームで勉強会を開催しているのですが、その時に用いるシステム構成図をCacaoで作成しています。

例えば、“AWSの開発環境での開発では、そのサービスを使ってどういう風に流れていくのか？”その説明にCacaoで作成したAWS構成図を活用します。また、アプリの画面遷移図などの作成にも活用しています。



—— 今後の活用についての展望をお聞かせください。

CacaoではAWSのアイコンなど豊富な素材とテンプレートが用意されていますし、かつドラッグ&ドロップであっという間にイメージ通りに作れてしまう。これはありがたいですね。

Cacaoで作成した図はBacklogに挿入できますし、今後はBacklogで「チーム力」を高めるとともにCacaoの活用もさらに促進していければと考えています。

株式会社セナネットワークス

フルリモートへの移行で生じた課題をCacooで解決！ アイデアのストックや思考整理にも活用。

少人数ながらも、確かな技術力で多くのクライアントから高い評価を得ている株式会社セナネットワークス。Web開発、システム保守、アプリ開発からインフラの構築および運用・保守、コンサルティングサービスなどを提供しています。同社ではコロナ禍をきっかけにフルリモート体制に移行。オンラインミーティング下におけるコミュニケーションの課題を解決するために、Cacooを導入しています。

Cacoo 導入前

情報共有

- コロナ禍でフルリモートになり、ホワイトボードが利用できなくなることで認識合わせが困難に
- クライアントの要望をヒアリングする際、より視覚的に確認し合えるツールが必要だった



ファイル管理

- ローカルに保存してあるデータに書き込み、ファイルを共有して確認、必要があれば内容を修正することによるタイムロスの発生



Cacoo 導入後

- オンラインミーティングの質向上
- プレスリリース作成時の各部署からのフィードバックを効率化。文章だけでなく図やコメントで更新依頼が出せるので修正対応も的確に行える。
- 変更履歴がきちんと保存されるので、ファイルのバージョン管理が不要に

業 種： WEB制作・システム開発

利用部門： 広報・システム開発

株式会社セナネットワークスはデザイン、開発からインフラの運用、コンサルティングまでを自社内完結で提供できることを強みとして事業を展開しています。これまでに培ってきたノウハウを活かし、幅広い分野でシステムの開発・提供しています。自社サービスである脆弱性診断ツール『Syhunt』をはじめ、Backlogと連携可能なWeb修正依頼ツール『Naoshite』、そしてNintendo Switchのゲーム開発などを行っています。

“フルリモートでも共通認識の構築を実現！ アイデアのストックや思考整理にも活用”

—— Cacao導入前に抱えていた課題を教えてください。

当社ではコロナ禍をきっかけにフルリモートに移行したのですが、非対面のミーティングが増加したことで、“ビジュアルコミュニケーションの質低下”が大きな課題になっていました。元々、当社は在宅勤務できる体制を整えてはいたのですが、認識合わせに活用していたホワイトボードが使えなくなってしまったことで、図式などのイメージ共有が図りにくくなってしまったのです。

—— 導入の決め手を教えてください。

オンラインコミュニケーション時に抱えていた課題をすべて解決できたことです。基本的には社内のみでの活用を考えていましたが、あまりの使いやすさにクライアントをゲスト招待し、クライアントへの説明にもCacaoを活用しています。社外コミュニケーションツールとしても価格以上の価値をもたらしてくれました。

また、他社ツールと比較しても“操作性”と“使いやすさ”は魅力的です。ユーザーフレンドリーで簡単に操作ができたので、社員からも「使いやすい！」と好評です。機能性と使いやすさを、このコストで実現していることは非常にインパクトを感じましたね。

—— 導入後、感じられた効果はどのようなものでしたか。

Cacao導入による3つの大きな効果がありました。1つ目はオンラインミーティングにおける共通認識の構築が容易になったこと。従来のオフィスでのホワイトボード作業と同様の修正・加筆を行い、リアルタイムで図の編集と共有が可能になり、業務効率化とタイムロスの解消が実現しました。

2つ目はバージョン管理機能によるスムーズな作業フローです。クライアント案件での修正や変更において、過去のバージョンを簡単に把握し、必要な時点のファイルを素早く呼び出せるようになりました。

3つ目はフィードバック受け取りの円滑化。コメント機能の活用により、プレスリリース作成時などでのフィードバックや意見交換が容易になり、作業時間が大幅に短縮されました。コメントを図の特定の箇所に置けるため、指摘事項の把握もスムーズです。

—— Cacaoのお気に入り機能や活用方法などお聞かせください。



ブレストの際に使うだけでなく、個人メモとしても付箋機能を愛用しています。オンライン上で、しかも「付箋」アイコンをクリックするだけで作成でき、色分けも自由。優先度に応じたタスクメモや個人的なアイデアもストックできるので、思考整理が格段にしやすくなりました。

そして、イベント時のタスクの洗い出しにも利用しています。イベント出展では「何を」「いつまでに」「誰が」しなければいけないのか、について最初に認識を合わせる必要があります。

最終的な目的をメンバーで共有しながら大小さまざまなタスクの管理・可視化が不可欠です。そんな時にCacaoで画面共有をしながらミーティングを行うと、タスク管理ツールに起票する前のざっくりとしたタスクの確認、振り分けができるので便利です。

Cacaoは情報を可視化することでコミュニケーションを円滑にするだけでなく、個人のアイデアのストックやタスク管理まで幅広く活用できる稀有なツールです。

三井デザインテック株式会社

学生インターンシップでCacooを活用！ オンラインでも活発なコミュニケーションを実現

ホテルやオフィスなどの空間デザインやインテリアデザインを手がける三井デザインテック株式会社。主にエンジニアやデザイナーの方々に活用いただくことが多いCacooですが、同社では学生向けインターンシップのグループワークとして導入しています。



業種：IT・通信

利用部門：人材開発

Cacoo 導入前

Cacoo 導入後

コミュニケーション

- グループワークで共同作業ができず、生徒たちの役割が限定されていた



- 共同編集により活発なコミュニケーションが取りやすくなり、グループワークでのコミュニケーションが活性化した

情報共有

- インターンシップのオンライン開催時のコミュニケーションロス
- 社内ネットワークを介さずに、安全なセキュリティを保って利用できるツールが必要だった



- 同一の作業スペースにアクセスできることでグループワークで出来上がる成果物の質が上がり、学生の満足度が向上

三井デザインテック株式会社は住宅から商業施設まで、暮らしのあらゆる場面に関わる空間の設計、リニューアル工事、インテリア提案などを行っております。当社の特長は、手がける施設の幅広さです。オフィスとカフェ、ホテルと住居など、異なる領域のよい部分を掛け合わせる「クロスオーバーデザイン」を強みに、快適な空間の創造を追求しています。

“ 学生インターンシップで活用！ 活発なコミュニケーションを実現 ”

—— Cacao導入前に抱えていた課題を教えてください。

採用活動やインターンシップがオンライン化する中、グループワークのための適切なオンラインツールを模索していました。重視されたポイントは2つ。まず、オンライン上で同じ作業スペースを確保できること。学生を社内ネットワークに招待せずに利用できるセキュリティ面の条件が求められました。そして、リアルタイムでの共同作業が可能なこと。初年度のオンラインインターンシップでは、グループ内の一人がパワーポイントを共有し、役割が限定される問題がありました。

—— 具体的な活用方法をお聞かせください。

学生インターンシップでは、Cacaoを使ったデザイン作業が中心です。最初には個人が自分の理想のオフィスをCacao上で描き、その後、6~7人のグループに分かれて、実践的なデザイン作業に取り組みます。グループでは、お客様の要望をCacaoの付箋機能を使って整理し、デザインの重要な要素や全体のコンセプトを話し合います。その後、オフィスのレイアウト作成に移り、線や備品配置、イメージ写真の挿入など、実践的な設計作業を行います。

最後に、Cacaoを使って学生たちは振り返りを行い、気づきや学びをシート上に記入し合います。

—— 導入後、感じられた効果はどのようなものでしたか。

一番効果を感じているのは、グループワークの際に学生同士でより活発な交流ができるようになった点です。また、提出される成果物のクオリティが格段に上がったと感じます。オフライン開催のときは模造紙に手書きしてもらっていましたが、どうしてもデザインがいびつになってしまったり、伝わりづらかったりすることもありました。

その点、Cacaoでは綺麗な線が引けて画像も挿入できるので、絵を描くのが苦手な方でも作業がしやすいのではないかと思います。クオリティの高い成果物が出来上がることによって、学生のモチベーションが上がり、インターンシップの満足度も高まっていると感じます。

—— 導入後、感じられた効果はどのようなものでしたか。

非常に操作性が優れていて、使い勝手のよいところが魅力です。学生の方には、インターンシップの冒頭でシートの作成方法や文字・画像の挿入方法を簡単に説明していますが、皆さんすんなりと使っていただけています。



—— 今後、インターンシップがオフライン開催になった際にはどのように考えていますか？

オフライン開催を再開して、同じ場所に学生が集まる形になっても、グループワークの作業ではCacaoを活用する予定です。話し合うときにそれぞれの意見やアイデアを見やすく整理できるので、チームビルディングの面でも、Cacaoを活用するメリットがたくさんあると思います。

また、インターンシップだけでなく、ゆくゆくは社内の業務にも活用を展開していきたいですね。チーム内でインターンシップの内容に関するプレストを行う際など、意見を出し合ったり一緒に考えたりする場面で非常に有効なツールだと思います。